



町民憲章を朗唱する兼平大地さん

フォトレポート



# 晴れ着姿に彩られた、新たな門出。 令和4年 津別町 成人式



成人の誓いを述べる内田日菜子さん



記念品を受け取る谷口日那さん

雪が降り積もる1月9日、真新しいスーツや振袖に身を包んだ新成人が中央公民館に集いました。検温や換気など新型コロナウイルス感染症対策が十分にされた会場で23人の新成人が新たな門出を迎えました。

式典では、佐藤町長が「人間は生まれて、生きて、そして死んでいきます。生き物が生まれてくるのは偶然ですが、死ぬのは必然です。ですから生きていく間は何か事も積極的に取り組んでほしいと思います」と激励しました。

続いて新成人を代表して兼平大地さんが町民憲章を朗唱したあと、内田日菜子さんが「これまで支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからは自分の意志で自分の進むべき道を選択できる自立した人間になります」と誓いの言葉を述べました。

また、新成人を代表し、谷口日那さんが佐藤町長から記念品を受け取りました。その他、北見室内管弦楽団の演奏や、津別町紹介動画の上映などがありました。

式典後、会場の外で再会を喜ぶ姿や記念撮影が見られた新成人たち。この日、人生の大きな節目を迎え、感謝とこれからの希望を宿して、大人の一步を踏み出しました。

